

病院の省エネ化に 高い企業の参加意欲! ～「南部病院 E S C O 事業」に 8 企業・グループが応募～

横浜市では、大量に管理している公共建物の省エネ化を進め、環境負荷の低減と財政負担の軽減を図るため、民間の資金・ノウハウを活用する ESCO 事業（裏面参照）を導入することとしています。

先行的なモデル事業として、済生会横浜市南部病院（運営：済生会、施設：済生会と市の共有）において、恩賜財団済生会と横浜市が共同で ESCO 事業者公募を実施したところ、1月13日～15日の受付期間内に、8企業・グループ（合計18社）から参加表明がありました。

ESCO 提案審査委員会（1月20日）において、資格審査した結果、応募された8企業・グループ（合計18社）全てが合格し、「提案資格あり」となりました。

これらの企業・グループは、いずれも ESCO 事業に豊富な経験を有しており、設計・工事・管理・ファイナンス等の各分野で活躍中です。

今後のスケジュールとしては、2月23日～24日に提案書を受け付け、審査委員会がヒアリング等を経て3月中に最優秀提案者を選定する予定です。

恩賜財団済生会と横浜市としては、省エネルギー効果、コスト削減効果の大きい優れた提案が提出されることを期待しています。

ESCO 提案審査委員会の委員名、審査要領、及び応募企業・グループについては、建築局ホームページに公表します。

<http://www.city.yokohama.jp/me/ken/archi/esco/esco.html>

応募企業・グループ（Noは受付順です。）

No	代表会社名	グループ構成会社
1	(株)エネルギーアドバンス	(株)伊藤喜三郎建築研究所、(株)日立製作所横浜支社、高砂熱学工業(株)横浜支店
2	(株)東芝 首都圏南支社	東芝ファイナンス(株)
3	(株)明電舎 横浜支店	川本工業(株)
4	(株)荏原製作所 横浜支店	<グループ構成員なし>
5	セントラルリース(株)	日本ファシリティソリューション(株)、(株)山武
6	三建設備工業(株) 横浜支店	<グループ構成員なし>
7	ダイダン(株)	<グループ構成員なし>
8	(株)フレクセス	オリックス(株)、日本工営(株)、関工第一企業(株)

恩賜財団済生会横浜市南部病院 ESCO 事業

導入理由：竣工後20年が経過し、設備機器類の更新時期にきていること。
光熱水費が年間2.5億円かかっており、その低減が求められていること。

実施内容：熱源エネルギーを灯油から環境負荷の少ない気体燃料に変更
空調・熱源機器、照明機器の設備更新・省エネルギー化等

削減目標：エネルギー消費量：5%以上
CO2 排出量：15%以上
光熱水費：1000万円/年以上

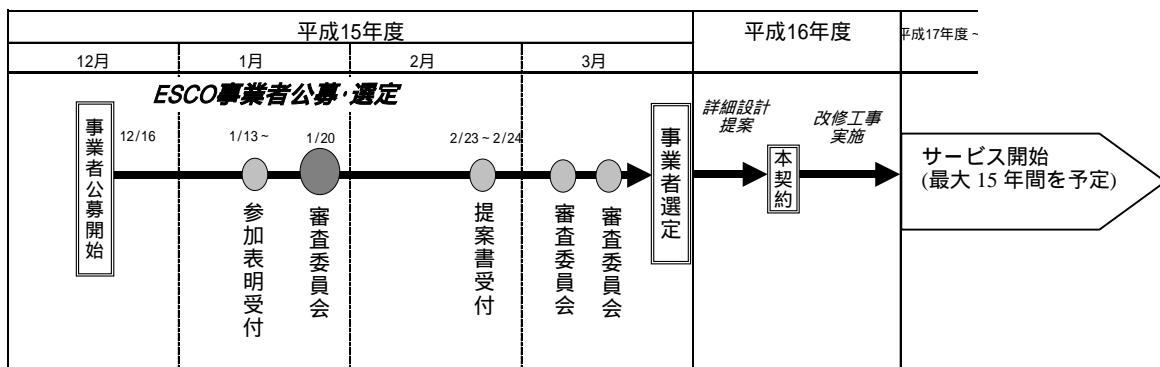
恩賜財団済生会横浜市南部病院
・1983年（昭和58年）建設（築20年）
・SRC造、延床面積 28,707㎡
・病床数：500床
・運営：社会福祉法人恩賜財団済生会
支部 神奈川県済生会
・住所：横浜市港南区港南台3-2-10

済生会横浜市南部病院 ESCO 提案審査委員会 委員

委 員	
【委員長】 横浜国立大学工学部建設学科 教授	田村 明弘
【副委員長】 慶応義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授	飯田 訓正
【委員】 日本医療福祉設備協会 理事	小室 克夫
【委員】 (株)浜銀総合研究所戦略研究部 部長	三枝 康雄

任期：H16.1.20～H16.3.31

横浜市南部病院 ESCO 提案募集スケジュール



ESCO 事業の仕組み

ESCO事業とは、既存施設の設備改修において、省エネルギー化と維持管理費の低減を図るため、民間事業者が計画・工事・管理・資金調達等包括的なサービスを提供し、従前の環境を低下させることなく省エネルギー化を行い、その結果得られる効果を保障する事業です。

ESCO = Energy Service Company の略称です。

